

2025年12月26日

各 位

株式会社八十二銀行

「第14回信州ベンチャーサミット」の起業家ピッチ登壇者決定について

八十二銀行（頭取 松下 正樹）は、2026年1月14日（水）に開催する「第14回信州ベンチャーサミット」の起業家ピッチ登壇者が決定いたしましたのでお知らせいたします。起業・創業支援に関心のある皆さんに、是非ご来場いただきたくご案内いたします。

以下に概要をお知らせいたします。

【「第14回信州ベンチャーサミット」の概要】

日 時	2026年1月14日（水） 13:00～18:00 （受付開始 12:30～）
会 場	Tokyo Innovation Base（東京都千代田区丸の内3-8-3）
プロ グラム	(1) パネルディスカッション (2) 起業家によるピッチ (3) ビジネス交流会
登 壇 者	登壇者は以下のとおりです（敬称略） ・株式会社Goat Plus 代表取締役 田中 詠一 ・株式会社ユカシカド 代表取締役CEO 美濃部 慎也 ・株式会社Unseed AIソリューション事業部 事業責任者 今立 朝斗 ほか6名
観 覧 申 込	(1) 定 員：150名（先着順） (2) 参 加 費：無 料（ビジネス交流会を含む） (3) 申込期限：2026年1月13日（火） (4) 申込方法：以下のURLまたは別紙チラシに記載のQRコードからお申込みください https://tohmatsu.smartseminar.jp/public/seminar/view/62554

※ 詳細は別紙をご覧ください

以 上

SHINSHU VENTURE SUMMIT

起業家魂を信州から世界へ

第14回信州ベンチャーサミット

2026年1月14日(水) 13:00~18:00
(12:30受付開始)

会場: Tokyo Innovation Base (TiB) 2F STAGE

参加
無料

PANEL
DISCUSSION

～信州から世界へ～
長野発スタートアップのポテンシャルと展望(仮)



ファシリテーター
鳥居 希 Nozomi Torii
株式会社バリューブックス
代表取締役



AGRIST株式会社
代表取締役

齋藤潤一
Junichi Saito



株式会社
ヤッホーブルーイング
代表取締役社長

井手直行
Naoyuki Ide



経済産業省
大臣官房参事

石井芳明
Yoshiaki Ishii



株式会社おてつたび
代表取締役CEO

永岡里菜
Rina Nagaoka

SHINSHU VENTURE SUMMIT

今回で14回目となる「信州ベンチャーサミット」は、新たなビジネスや更なる高みへ挑戦しようとする経営者の皆様が事業や構想をプレゼンテーションする場であると共に、その可能性を広げてくれる参加者との出会いの場となります。起業家によるプレゼンテーション、ビジネスの専門家による審査・アドバイスなど盛りだくさんの内容をご用意しております。起業に関心のある皆様!信州から世界を視野に奮闘する起業家の熱き「魂」に直に触れてみませんか?皆様のご来場を心からお待ちしています。

審査員／パネリスト

△ AGRIST

齋藤潤一 氏

AGRIST株式会社代表取締役
(一財)こゆ地域づくり推進機構代表理事



審査員／パネリスト

ヤッホーブルーリング

井手直行 氏

株式会社ヤッホーブルーリング
代表取締役社長



審査員

tsi ITC

従 西裕之 氏

ティーエスアイ株式会社(TSI)取締役会長
株式会社イオンテクノセンター取締役会長



パネリスト



石井芳明 氏

中小企業基盤整備機構
創業・スタートアップ支援部長

パネリスト

おてつたび

永岡里菜 氏

株式会社おてつたび
代表取締役CEO



ファシリテーター

VB

鳥居 希 氏

株式会社バリューブックス代表取締役
(一社)B Market Builder Japan共同代表



開催概要

日 時 2026年1月14日(水) 13:00~18:00(12:30受付開始)

会 場 Tokyo Innovation Base (TiB) 2F STAGE

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-8-3

- JR山手線・京浜東北線「有楽町駅」京橋口 | 徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線「有楽町駅」D9出口すぐ
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」1出口 | 徒歩3分

定 員 150名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加料 無料

プログラム ※都合により変更の可能性もございます。予めご了承ください。

13:00~13:05 開会の挨拶

13:05~13:15 主催者スピーチ

13:15~14:05 パネルディスカッション

「～信州から世界へ～ 長野発スタートアップのポテンシャルと展望(仮)」

14:05~14:15 休憩

14:15~16:05 起業家ピッチ

16:05~16:25 休憩

16:25~16:55 表彰式

16:55~17:00 閉会の挨拶

17:00~18:00 交流会

起業家ピッチプレゼンター募集!!

応募資格 (概要)
◎長野県内に事業所を有す又は県内で事業を展開する企業(予定含む)
◎起業済みであること(既存事業とは別に、新分野への進出、業態変更等に実際に取り組んでいる実績がある企業も含む)

◎自社事業に共感してくれる優秀な人材を確保したい、資金的な支援を獲得したい、事業連携・協業パートナーを探したい起業家

募集人数 9名程度

応募期限 2025年11月30日(日) 24時

書類選考結果通知 2025年12月8日(月)

※書類選考を通過された方には、発表に関するブラッシュアップ支援を行います。

応募方法 エントリーシートに必要事項を記載の上、下記応募先に送付ください。エントリーシートは、右記QRコードのアクセス先よりダウンロード頂けます。

【応募書類】エントリーシート(希望するテーマを必ず記載ください)

その他事業の詳細を説明する資料(任意・フォーマット自由)

【応募先】E-mail: tvs-nagano@tohmatsu.co.jp

表彰内容 ◎信州ベンチャーサミット グランプリ

◎「ソーシャル・イノベーション賞」、「テクノロジー・インパクト賞」「マーケティング・ストラテジー賞」各部門賞

◎ビジョナリー賞



観覧
申込み
(先着順)
【事前登録期限】2026年1月13日(火)
【申し込み方法】下記URLまたはQRコードから事前登録を行った上で、当日会場へお越しください。

<https://tohmatsu.smartseminar.jp/public/seminar/view/62554>



信州ベンチャーサミット事務局

有限責任監査法人トーマツ長野事務所 担当:森山、田中、傳田

mail: tvs-nagano@tohmatsu.co.jp

ピッチ登壇者はFacebookページで紹介していきます。

下記URLまたはQRコードよりアクセスしていただき、ご確認ください。

<https://www.facebook.com/shinshu.venture.summit/>



【主催】長野県、有限責任監査法人トーマツ、株式会社八十二銀行、公益財団法人長野県産業振興機構、一般社団法人21世紀ニュービジネス協議会

【共催】八十二インベストメント株式会社、デロイトトーマツ税理士法人、株式会社CREEKS

【後援】経済産業省関東経済産業局、長野市、松本市、信州大学、長野県立大学、一般社団法人長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、一般社団法人長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、一般社団法人長野県中小企業診断士協会、株式会社日本政策金融公庫、長野信用金庫、松本信用金庫、上田信用金庫、諏訪信用金庫、飯田信用金庫、アルプス中央信用金庫、長野県信用組合、長野県信用農業組合連合会、長野県信用保証協会、一般社団法人nicollap、一般財團法人AREC

起業家魂を信州から世界へ



SHINSHU VENTURE SUMMIT



ビジョナリー賞投票

9名の起業家の皆様の中で、発表内容が
最も素晴らしい、経営者の熱意や魅力を
感じた方1名をお選びください。



参加者アンケート

信州ベンチャーサミットを今後よりよい
イベントにするため、アンケートへのご協力
をお願いいたします。(所要時間3分程度)

【主催】長野県、有限責任監査法人トーマツ、株式会社ハナニ銀行
公益財団法人長野県産業振興機構、一般社団法人21世紀ニュービジネス協議会
【共催】八十二インベストメント株式会社、デロイトトーマツ税理士法人、株式会社CREEKS
【後援】経済産業省関東経済産業局、長野市、松本市、信州大学、長野県立大学、一般社団法人長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、一般社団法人長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、一般社団法人長野県中小企業診断士協会、株式会社日本政策金融公庫、長野信用金庫、松本信用金庫、上田信用金庫、諏訪信用金庫、飯田信用金庫、アルプス中央信用金庫、長野県信用組合、長野県信用農業協同組合連合会、長野県信用保証協会、一般社団法人nicollap、一般財団法人AREC

第14回 信州ベンチャーサミット
2026年1月14日(水) 13:00~18:00(12:30受付開始)
会場: Tokyo Innovation Base (TiB) 2F STAGE



阿部 守一
長野県知事



「第14回信州ベンチャーサミット」にご参加いただき、誠にありがとうございます。
長野県は「日本一創業しやすい県づくり」を目指し、創業支援拠点「信州スタートアップステーション」や「信州スタートアップ・承継支援ファンド」の設立など、起業やスタートアップ支援に力を注いでまいりました。
今年度、内閣府の「第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市」に選定され、長野県のスタートアップシーンは大きな飛躍の時を迎えてます。「健康長寿日本一」や「ゼロカーボン先進県」といった全国トップクラスの強みを活かし、信州ならではのスタートアップが未来を切り拓くエコシステムを構築してまいります。
本サミットは、起業家としての熱い想いを持つ皆様が、新たなビジネスや更なる高みに挑戦する場です。初の東京開催となるこの機会を通じて、多様なスタートアップや投資家との交流の輪が広がり、新たなイノベーションが生まれることを心から期待しています。



伊藤 秋成
株式会社八十二銀行 営業渉外部 部長



本日は「第14回信州ベンチャーサミット」にご参加いただき、誠にありがとうございます。当行は、地域金融機関として地域経済の発展に努めてまいりました。その歩みを新たなステージへ進めるため、この度、2026年1月1日に長野銀行と合併し、「八十二長野銀行」として新たな一步を踏み出しました。昨年公表した「価値創造プロセス」に基づき、地域経済・地域社会の活性化と質的豊かさの実現に向け、取組みを加速してまいります。
今回は初めて東京での開催となり、信州発のベンチャー企業が革新的なアイデアを首都圏で発信することで、長野県と全国、さらには世界を結ぶ絶好の機会です。当行は、地域の持続的な発展に不可欠な新しい事業の創出を支援し、長野県から世界へ挑戦する企業の成長を積極的に後押ししてまいります。本サミットが、登壇者やご来場の皆様にとって、新たなビジネスの創出や飛躍の契機となることを心より期待しております。
ご来場いただきました皆様、ならびに多大なご支援を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



Deloitte.
デロイトトーマツ

朽木 利宏
有限責任監査法人トーマツ 長野事務所長

本日は信州ベンチャーサミットにご参加いただき、誠にありがとうございます。第14回となる本年は、初めての東京開催となります。信州の熱気を多くの皆様にお届けできることを大変光栄に思っております。
AI等のテクノロジーが産業を変革する中、その原動力は起業家の挑戦にあります。昨年、長野県が内閣府の「第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市」に選定されたことは、信州におけるイノベーション創出の機運が以前にも増して高まっており、起業家の挑戦を後押しする土壤が整ってきたことの証だと考えております。
信州ベンチャーサミットは、信州の起業家が多様なステークホルダーとの交流を通じ、ビジネスを社会実装へ繋げる機会です。初の東京開催が、それらをさらに加速させ、起業家が世界へ羽ばたくための第一歩となることを心より祈念しております。私達デロイトトーマツグループは、変革のカタリストとして、信州の起業家創出を後押しし、強固なエコシステム形成を推進することで、長野県経済の発展に貢献してまいります。
末筆ながら、ご来場の皆様、開催にあたってご支援賜りました関係各位に心より感謝を申し上げ、私たちの挨拶とさせていただきます。



The 21c NBC
一般社団法人 21世紀ニュービジネス協議会

若林 順平
一般社団法人 21世紀ニュービジネス協議会 会長

「第14回信州ベンチャーサミット」にご参加いただきありがとうございます。未来を担うイノベーティブな企業が、さらに飛躍できるようにと、はじまった取り組みが、この信州ベンチャーサミットとなります。
私ども、一般社団法人21世紀ニュービジネス協議会は、ベンチャー、スタートアップという言葉ができる以前の1980年代より、信州に根ざす経営者達が、地方の特性を活かした新たな事業創造を目指し、またそういう企業、個人を支援する団体として活動してきました。そして今その活動は日本ニュービジネス協議会連合会として全国に広がりました。
当イベントは未来を創造するイノベーティブな企業、考え方が社会における価値を大いにアピールし、事業や経営者としての評価を広く評価され、その存在意義を高めることができる大きな機会です。
今回も強い個性と軸を持った企業、起業家、アイディアが信州を背景に大きな世界に飛び出していくことを期待しています。

起業家ピッチ審査員／パネルディスカッション登壇者



審査員／パネリスト

齋藤 潤一 氏

AGRIST株式会社代表取締役

一般社団法人ローカル・スタートアップ協会 代表理事

2017年4月宮崎県新富町役場が設立した地域商社「ごゆ財団」の代表理事に就任。1粒1,000円ライチの開発やふるさと納税で寄付金を累計約100億円以上集める。19年10月に農業課題を解決するため収穫ロボットを開発するAGRIST株式会社を創業。ForbesAsia 100など国内外20のアワードを受賞。

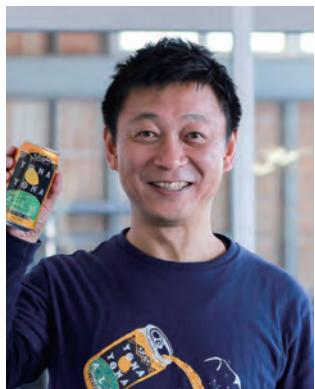


パネリスト

石井 芳明 氏

中小企業基盤整備機構創業・スタートアップ支援部長

経済産業省にてスタートアップ政策、中小企業政策に従事。J-Startup、始動Next Innovator、新SBIR制度、スタートアップ・エコシステム拠点都市、日本スタートアップ大賞、などの創設を担当。スタートアップ育成5か年計画の策定にも参画。2024年7月より現職にてスタートアップ支援の実施を強化中。



ヤッホーブルーイング

審査員／パネリスト

井手 直行 氏

株式会社ヤッホーブルーイング代表取締役社長

国立久留米高専電気工学科を卒業後、電気機器メーカー、広告代理店などを経て、1997年ヤッホーブルーイング創業時に営業担当として入社。地ビールブーム終焉の後、再起をかけ2004年楽天市場店の店長としてネット通販事業を軸にV字回復を実現。2008年より現職。著書に『ぷしゅ よなよなエールがお世話になります』



パネリスト

永岡 里菜 氏

株式会社おてつたび代表取締役CEO

千葉大学卒業後、PR企画制作会社勤務、農林水産省との和食推進事業の立ち上げを経て、独立。2018年株式会社おてつたびを創業。「誰かにとっての“特別な地域”を創出する」をミッションに、人手不足で困る地域の農家や旅館と、旅人が出会えるマッチングプラットフォーム“おてつたび(お手伝い×旅)”を運営中。



審査員

辻西 裕之 氏

ティーエスアイ株式会社(TSI)取締役会長
株式会社イオンテクノセンター取締役会長

ベンチャーキャピタル(日本アジア投資)勤務後、TSIを共同創業。大学発ベンチャーなど、創業投資に特化した事業育成業を展開。イオン工学研究所については社長として研究所モデルから事業会社モデルへの転換と再生に成功。



ファシリテーター

鳥居 希 氏

株式会社バリューブックス代表取締役
一般社団法人B Market Builder Japan共同代表

2015年、書籍の買取・販売を行うバリューブックス(長野県上田市)入社。同社にてB Corp™の認証取得に向けて取り組む。B Corpムーブメントの一助となるべく『B Corpハンドブック よいビジネスの計測・実践・改善』を翻訳、2022年6月出版。2024年3月、B Market Builder Japan設立。2024年7月、バリューブックス代表取締役就任。





「起業家ピッチ」って何？

「信州ベンチャーサミット」において、イベントの中心になるのは「起業家ピッチ」です。起業に関心のある方にはすっかりお馴染になった「ピッチ」。でも、起業や投資に関心のない方には「？」の単語に映ることでしょう。

このページでは、ピッチとはそもそも何なのかを解説します。

ピッチの発祥はアメリカ南部のシリコンバレー。世界に冠たる企業がこの地で生まれて、大きく成長していることは周知の事実です。起業家を育み、育てる土壤がここにはあります。

今も起業を志す若者たちが熱いプレゼンを繰り広げており、事業計画が投資家の目にとまれば、多額の資金を得て、市場という大海原へと乗り出すことが可能になります。こうした投資へのプレゼンがシリコンバレーでは「ピッチ」と呼ばれています。アメリカ発のこの単語が日本のマスコミ業界等にもじわじわと広がり、国内でも使われるようになったようです。

ところで、「プレゼン」と「ピッチ」の違いはどこにあるのでしょうか。

プレゼンはサービスや製品を売り込む際に、その魅力を説明するためにパワーポイントを駆使して、徹底的に顧客に訴えるようなイメージがあります。それを聞く相手側は、ある程度の予備知識等を持っている構図。市場に出回っている既製品の魅力を訴えることが多いのではないでしょうか。

これに対してピッチは、起業家が新しい事業やサービスをプレゼンすることに違いがあります。既製品の説明ではなく、まだ世の中に生まれていない新しいものをアピールするところに特徴があります。

実際にピッチを体験してみませんか？

様々な面白いプランやアイデアに思わず聴き入ってしまいます。自分がこれまでに経験しなかったものの見方や考え方触れることは、新鮮な体験として皆さんの記憶に残るでしょう。

長野県がシリコンバレーに負けない起業家発祥の地になることを願い、本イベントは「起業家魂を信州から世界へ」と、サブタイトルが付けられました。

発表者一覧

登壇者名	会社名	役職
田中 詠一	株式会社 Goat Plus	代表取締役
美濃部 慎也	株式会社ユカシカド	代表取締役CEO
今立 朝斗	株式会社Unseed	AIソリューション事業部 事業責任者
佐々木 恭助	株式会社アンバーロジックス	代表取締役
中嶋 啓太	ゴミナクス株式会社	代表取締役
佐藤 駿	株式会社note	代表取締役
峠下 周平	株式会社FLIGHTS	代表取締役
中沢 冬芽	株式会社Alumnote	代表取締役CEO
岩見 義明	株式会社グリーンベネフィット	代表取締役



株式会社GOAT PLUS

市民とハンターの命を守る「緊急銃猟 DX」

田中 詠一 氏

株式会社 Goat Plus 代表取締役

株式会社Goat Plusは、2025年の法改正で自治体に課される「住宅地での銃猟判断」という重い責任を支え、市民の命を守る「緊急銃猟包括支援サービス」を開発します。

現場のアナログな指揮や法的判断の不安に対し、弊社はまず、国の指針に準拠した「運用マニュアル」と、状況をリアルタイム共有する「Web アプリ」を提供し、意思決定をデジタル化・標準化します。

さらに、本事業は単なるツール提供にとどまりません。自治体単独では維持困難な「弁護士」「獣医師」「特殊捕獲部隊」等の高度専門リソースを、有事に必要な時だけ提供するシェアリングモデルへと発展させます。平時の「デジタル訓練」から有事の「実働支援・法的防衛」までを包括的にサポートすることで、導入自治体のコストとリスクを劇的に低減します。

「所有」から「利用」へ。この長野発の社会インフラで、全国の獣害課題を解決します。



YUKASHI
KADO Inc.

世界の栄養課題を解決する

-パーソナライズ栄養食「TYPE FOOD」

美濃部 慎也 氏

株式会社ユカシカド 代表取締役CEO

「国内外を問わず平等な環境と機会の創造」をミッションに掲げる、パーソナライズドニュートリション事業のスタートアップ企業です。世界で初めて尿から栄養の過不足を科学的に評価し、検査結果に基づく最適な食品提供を実現。長野県松本市の自社検査センターと製造工場を併設した「ユカシカドFACTORY」による、一貫した検査・製造・出荷体制の構築。日々の体調管理やパフォーマンス向上を支える栄養コンディショニングを推進。科学・テクノロジー・ものづくりを融合したモデルによる、世界の栄養課題の解決に取り組んでいます。

起業家ピッチ 登壇者



知識共有を高度化する高セキュアAI基盤

今立 朝斗 氏

株式会社Unseed AIソリューション事業部 事業責任者

Unseedは、東京大学・松尾研発・信州大学発のフルカスタムAIスタートアップとして、企業固有の業務フロー・環境・データ構造に最適化された高度なAIソリューションを開発しています。東急不動産ホールディングスをはじめ、不動産・製造、インフラ、自治体、金融など幅広い領域で、画像AI・生成AI・LLM/RAGを中心とした先端技術を実運用レベルで提供しています。特徴としては、既存APIやパッケージを当てはめるのではなく、課題の本質整理から、データ収集・前処理、モデル選定・学習・評価指標設計、運用改善までをフルスクラッチで設計する点になります。特に、高精度LLM/画像モデルの実装、業務専用のRAG基盤構築、セキュアな閉域ネットワークでのAI稼働など、企業の機密性や高精度要求に応える独自技術を強みとしています。精度の高いPoC設計から本番運用まで伴走し、DXの実利を出すことにこだわっております。

起業家ピッチ 登壇者



様々な食品廃棄物から バイオ製品へ転換するプラットフォーム事業

中嶋 啓太 氏

ゴミナクス株式会社 代表取締役

ゴミナクスは、多様な食品廃棄物を高付加価値のバイオ素材へ転換する研究開発プラットフォームを提供しています。酒粕・米ぬか・果皮・菌床といった原料を受け取り、化学分析・機能成分抽出を行い、化学的改質(低分子化、抗菌性付与、生分解性工場など)による高付加価値化を経て、用途に応じた素材設計、プロトタイプ作成など行います。アウトプットとして、バイオレザー、バイオファイバー、バイオプラスチック、バイオ化粧品など、多領域に応用可能なサステナブル素材を創出し、複数のアップサイクルメーカーと連携し、PoCから製品化・量産化・市場導入まで伴走することで、企業の脱炭素型ものづくりを加速する実装指向のR&D基盤です。



スマート田んぼ水管理サービス

「田んぼへGo」

佐々木 恭助 氏

株式会社アンバーロジクス 代表取締役

私たちは過去5年間、茅野市にある公立諒訪東京理科大学でIoT環境センサシステムの研究に取り組み、河川・農業用水路・水田等の58箇所に水位センサを設置し、スマートフォンで遠隔監視できるシステムの構築・運用をしてきました。この実証で得られたノウハウを活かして1年半前に起業し、低消費電力で安価かつ、水田で安定動作する水位計を自社開発しました。この水位計を核にして、米農家が毎日行う「田んぼの水管理」を地域住民に委託できるスマート水管理サービス「田んぼへGo」を計画しています。田んぼに設置した水位センサのデータを農家が遠隔で確認し、水門開閉を依頼するとネットで通知され、近隣住民が農家に代わって水門を操作します。農家が支払う利用料は作業者に分配されます。複雑な機構を持つ自動水門と異なり、本システムは低コストで即実用化が可能です。高齢化が進む農業を支える、これまでにない新しいサービスです。



障害のあるクリエイターとの やさしさの循環システム

佐藤 駿 氏

株式会社note 代表取締役

株式会社noteは、「世の中を精神的に豊かに」をビジョンに掲げ、軽井沢町を拠点に、自社が運営する児童福祉教室「unico軽井沢」の職員とともに、障害のあるクリエイターと共に創り、作品・デザインを生み出すアートブランド「Suu to.」を立ち上げる。Suu to.が目指すのは、「点と点」の一過的な支援ではなく、表現するクリエイターも、寄り添いながら引き出す福祉専門職員も、創作を導くアトリエリスティも、すべて自社で育成し、そしてこの想いに共感し関わる全てのひとの「やさしさ」が1つになり、だからこそ生まれるクオリティーの高い作品たちを、社会と繋げること。そして「やさしさ」の循環を育てることがSuu to.の本質です。ヒト・モノ・お金・想いが、社会→アトリエ・クリエイター→児童福祉施設に巡り、福祉事業の根幹テーマである権利擁護と人材問題を包括的に解決するエコシステム(やさしさの循環)の構築を目指します。

起業家ピッチ 登壇者



FLIGHTS

土木工事の進捗の可視化 および業務DXの提供

峠下 周平 氏

株式会社FLIGHTS 代表取締役

建設需要が旺盛な一方で、高齢化による就労人口の減少や労働生産性の低さなどが課題となっている建設業向けに計測関連の事業を展開。ドローンやIoTデバイスの有用性が認識される中で、建設業において高いデータ精度とリーズナブルなコストを両立するソリューションが実装に不可欠となる。弊社FLIGHTSは、土木分野に精通したエンジニアを中心にR&Dからプロダクトまで実装を手掛けており、現場でユーザーに支持される業務DXアプリケーションを提供している。特に公共測量向け計測ツールおよび橋梁点検においては国内トップの実績である。今回、特に人手不足感の強い土木工事向けに作業の進捗管理や検収のためのデータ取得および解析の自動化システムを提供し、建設現場の課題解決を行うシステムについて紹介する。

起業家ピッチ 登壇者



GREEN BENEFIT

地元間伐を活用した天然繊維の普及と 森林環境への還元

岩見 義明 氏

株式会社グリーンベネフィット 代表取締役

森の恩恵を利用し還元を繰り返すグリーンベネフィットという考え方。森林を未来へつなぐには、単に保全するだけでなく、「森林資源(森の恩恵)」という観点から、使うことと守ることを両輪にした循環をつくることが不可欠です。日本は長らく「伐らない林業」を続けてきた結果、手入れされない人工林が増え、生態系・治水・景観・資源としての森林の機能が低下してきました。森林の有効利用と、正しい還元を繰り返し、生態系と共生できる産業が必要です。森林環境を持続するためには、森林を「資源(恩恵)」として正しく評価し、適切に利用しながら、その価値を森林へ還元する循環型の仕組みが必要です。利用と還元を繰り返すことで、森林は健全性を保ち、生態系と調和した産業として成立する。この循環を実現することこそが、日本の森林資源を未来へ継承する最も重要な戦略だと考えています。



地方創生 × 大学支援 × 早期キャリア 形成モデルの実装

中沢 冬芽 氏

株式会社Alumnote 代表取締役CEO



「次世代の教育に資本をまわす」ミッションのもと、大学財政難を解決する国内唯一のスタートアップです。文部科学省後援の学生による資金調達イベント「Giving Campaign」では、これまでに全国120大学・160万人のDBを構築し、国立大学においては70%と取引がございます。大学ファンドレイジング支援事業では、名簿整備SaaSとHR事業を組み合わせ、企業の採用費を大学寄付に変換する独自の資金循環モデルを展開しています。2025年には、大学横断型コミュニティプラットフォーム「Cross Campus」をリリースしました。就活潜在層(1~3年生)11.2万人にリーチでき、企業・自治体・大学をつなぐ三方良しの仕組みを提供します。

プログラム

※都合により変更の可能性もございます。予めご了承ください。

13:00～13:05 開会の挨拶

有限責任監査法人トーマツ 長野事務所長 柄木 利宏

13:05～13:15 主催者スピーチ

長野県 産業労働部長 米沢一馬

13:15～14:05 パネルディスカッション

パネリスト 中小企業基盤整備機構創業・スタートアップ支援部長 石井 芳明 氏

株式会社おてつたび代表取締役CEO 永岡 里菜 氏

AGRIST株式会社代表取締役 斎藤 潤一 氏

株式会社ヤッホーブルーイング代表取締役社長 井手 直行 氏

14:05～14:15 休憩

14:15～16:05 起業家ピッチ

16:05～16:25 休憩

16:25～16:55 表彰式

16:55～17:00 閉会の挨拶

株式会社八十二銀行 営業渉外部 部長 伊藤 秋成

17:00～18:00 交流会